

## 清家清の非住宅作品にみられる造形表現の特徴

## —柱梁架構と外壁材の構成について—

A study on characteristics of design in Kiyoshi Seike's non-residential work

Composition of column-beam frame and exterior wall material

○小川寛人<sup>1</sup>, 田所辰之助<sup>2</sup>\*Hiroto Ogawa<sup>1</sup>, Shinnosuke Tadokoro<sup>2</sup>

This paper seeks to clarify characteristics of design in Kiyoshi Seike's non-residential work. In this paper, we focus on the composition of column-beam frame and exterior wall material. This paper consists of five chapters. The 1<sup>st</sup> is introduction. The 2<sup>nd</sup> is research methods. We try to read Seike's design process from his drawings and pictures. The 3<sup>rd</sup> is the body text. We make a table of Seike's work. We analyze composition of column-beam frame and exterior wall material. The fifth is conclusion. As a conclusion, Factors are exterior wall material, structural trial and interest in symmetry.

key words: characteristics of design, Composition of column-beam frame, exterior wall material, structural trial, symmetry

## 1. 研究背景および研究目的

清家清は「森博士の家」(1951年)や、「斉藤助教授の家」(1952年)などの住宅の設計を多く手掛けた建築家として知られ、住宅に関する書籍も数多く執筆している。建築界のみならず、広く一般にもその名前を知られた建築家であった。そのため既往の清家清に関する研究は、住宅に関するものが多い。しかし清家清は彼の経歴の中で中期から後期にかけて、「小原流コンプレックス」(1962~1970年)、「軽井沢プリンスホテル新館」(1982年)などの大きな規模をもつ住宅以外の建築も多く設計している。そこで本研究では、清家清の非住宅作品に注目し、清家清の設計手法を考察していきたい。

## 2. 研究方法

清家清は自らの言葉で自身の設計手法や設計理論を語ることが少なかった。そこで、清家清に関わる書籍「ARCHITECT 清家清」,「現代日本建築家全集 16」,「別冊新建築 日本現代建築家シリーズ⑤」,「清家清のディテール」などに注目し、そのなかで非住宅作品に焦点を絞り分析することとした。

## 3. 非住宅作品の造形表現の分析

今回の調査で分類したものは「ARCHITECT 清家清」に掲載された作品から非住宅作品を抽出して Figure 1 の形で整理した。構造・材料などの違いはあるが、半数以上の作品で、何らかの形で立面において柱梁架構をしたデザインが施されていることがわかる。柱梁架

構表現をした作品はそのフレームの中に何らかの材料を外壁材として用いることになるが、清家清の場合ガラス系、陶製タイル、レンガ、石材、その他の材料を用いて立面をデザインしていた。材料別で分析してみるとガラスが最も多くの作品で用いられているが、これは屋内に光を取り込むための開口としての必要性から最も多く用いられていると考える。プロフィリットガラスを用いているのは、乃村工藝社の2作品に、陶製透かしタイルと御影石は小原流の2作品にそれぞれ限定的に用いられている。ガラスブロックに関しては学校建築などにおいて多く用いられている傾向が見られる。レンガは乃村工藝社とプリンスホテルに共通して用いられたということがわかる。以上は複数の作品で用いられた材料であるが、清家清はプレキャストコンクリートルーバーや布製の膜によって同様に柱梁の間を充填する試みもしている。

## 4. まとめ

清家清は自身の設計手法や理論を多くは語らず、作品ごとに様々な表現を用いる建築家であるが、立面の構成という点から分析をすることで、共通する点などが少なからず存在することがわかった。文献調査を進める中で清家清は構造や構法における実験的な試みやシンメトリーに関する興味があったことがわかってきたので、今後は立面の外壁材について引き続き調査するとともに上記の2つのことについても同様に調査を進め、清家清の造形表現について明らかにする。

	屋根形状	立面柱梁表現	充填材							特記	
			ガラス	フロアリットガラス	ガラスブロック	陶製透かしタイル	レンガ	御影石	その他		
九州工業大学記念講堂	折板	ある	○							コンクリート	折板
九州工業大学事務棟	切妻	ある	○								
埼玉県農林会館	陸屋根	ある	○							石綿板ルーバー PCアルーバー	プレキャスト
小原流家元会館	陸屋根+波型	ある			○	○		○			波型屋根
小原流盛花記念館	陸屋根	ある	○								網目状コンクリート梁によるキャンティレバー
東京オリンピック選手村メインゲート	鋼管フレーム+バタフライ	ある	○							布	鋼管フレーム
青山学院大学理工学部校舎	陸屋根	ある	○		○					コンクリート	
乃村工藝社大阪社屋	陸屋根	ある	○	○	○			○			
乃村工藝社東京社屋	陸屋根	ある	○	○				○			
東京工業大学校舎北棟(現・南1号館)	陸屋根	ある	○		○						
東京工業大学校舎南棟(現・南1号館)	陸屋根	ある	○		○						
東名高速道路富士川サービスエリアレストハウス	方形	ある	○							パネル	
大阪万博スイス館設計協力(設計Willi Walter)	トラス	ある									
小原流芸術参考館	陸屋根	ある				○		○			家元会館のモチーフの転用
乃村工藝社東京社屋(本館)	陸屋根	ある	○								
東京工業大学理工学総合研究館計画(長津田計画)	陸屋根	ある	○								伊豆・三津シーパラダイスへのモチーフの転用
海中公園センター黒島研究施設	陸屋根	ある	○							木	
静清総合卸センター組合会館	陸屋根	ある	○		○					石綿板パネル	
伊豆・三津シーパラダイス	陸屋根+膜	ある	○								構造体の海上輸送
軽井沢プリンスホテル新館	切妻	ある	○		○			○			
野尻湖プリンスホテル	切妻	ある	○					○			
朝倉文夫記念館	片流れ	ある	○		○					石	トラス
札幌市立高等専門学校 基本設計(実施設計:石本建築事務所)	陸屋根	ある	○		○			○			
日光湯元国民休暇村	切妻	ある	○								
日南海岸南郷プリンスホテル	切妻	ある									
鎌倉プリンスホテル	切妻	ある	○		○						
枕溝地区コミュニティセンター	方形	ある	○							パネル	
うさぎ幼稚園	ヴォールト	ない									タイバー
銀座一丁目	陸屋根	ない									プレキャスト
第11回ミラノトリエンナーレ日本館(坂倉・丹下・清家共同設計)	不明	不明									
赤倉サンクラブ(山の家)	切妻	ない									
東京国際見本市鉄鋼特設館	陸屋根	ない									シートパイルによるファサード
東芝運輸ターミナル	鉄骨折板	不明									折板
東京工業大学校舎大教室(現・南講義棟)	陸屋根	不明									
東京工業大学校舎東棟(現・南6号館)	陸屋根	不明									
東名高速道路清見寺トンネル・換気塔		不明									
大阪万博国連館	特殊	ない									
大阪万博専売公社館	特殊	ない									
新建築社社屋 設計指導(設計:戸田建設)	陸屋根	不明									
水上高原プリンスホテル	陸屋根	不明									
新富良野プリンスホテル	陸屋根	ない									
関西国際空港旅客ターミナルビル(設計競技応募案、共同設計:JD ARCHITECTEN BDA)	特殊	不明									
飛騨古川まつり会館	切妻	不明									
横浜 八景島シーパラダイス	特殊	不明									トラス
ニセコ東山プリンスホテル新館	陸屋根	不明									

Figure 2 非住宅作品リスト

5. 参考文献

- 1) 「清家清」編集委員会：「ARCHITECT 清家清 1918-2005」, 新建築社, 2006. 7
- 2) 「現代日本建築家全集 16」, 三一書房, 1974
- 3) 「別冊新建築 日本現代建築家シリーズ⑤」, 新建築社, 1982. 10
- 4) デザインシステム編著：「清家清のディテール」, 彰国社, 1984. 9
- 5) 清家清：「ぼるてのん」, 相模書房, 1957